

第3回E-KIZUNAサミットin浜松 結果報告

平成24年11月9日 ホテルクラウンパレス浜松

【参加者（3県、21市、12企業、3オブザーバー、来賓3省）】

埼玉県	神奈川県	静岡県	弘前市	仙台市	つくば市
宇都宮市	高崎市	さいたま市	横浜市	川崎市	相模原市
横須賀市	新潟市	甲府市	長野市	松本市	飯田市
静岡市	磐田市	湖西市	豊橋市	鈴鹿市	浜松市

イオンリ テール(株)	(株)NTT データ	スズキ(株)	住友三井オー トサービス(株)	CHAdeMO 協議会	トヨタ 自動車(株)
日産 自動車(株)	パーク 24(株)	富士重 工業(株)	本田技研 工業(株)	三菱自動車 工業(株)	ヤマハ 発動機(株)

オブザーバー（3）

愛知県	名古屋市	岡崎市
-----	------	-----

来賓（3省）

経済産業省	国土交通省	環境省
-------	-------	-----



- テーマ 「低炭素型モビリティとスマート社会」
- 意見交換① スマート社会と低炭素モビリティについて
- 意見交換② 次世代の低炭素モビリティについて
- 意見交換③ まちづくりや観光への活用

第3回 E-KIZUNAサミット宣言

本年7月に政府が閣議決定した「日本再生戦略」において、エネルギーの構造転換と産業振興を強力に進める「グリーン成長戦略」が、最重要戦略として位置づけられ、低炭素型モビリティの普及と、グリーン・イノベーションによる新たな産業の創出が国を挙げて取り組む最優先の目標として示された。

我々、自治体と産業界は、低炭素型モビリティを取り巻く環境の変化に柔軟かつ積極的に対応するとともに、低炭素型モビリティの普及やスマート社会への活用などを通じて、環境にやさしいまちづくりと我が国産業の持続的な発展を目指して、次のとおり宣言する。

- 1 低炭素型モビリティの普及
低炭素社会の実現を目指し、EV、PHV、HV、FCV（燃料電池車）、低燃費ガソリン車、EVバイクなど、多様な低炭素型モビリティの普及、インフラの整備に向けた取り組みを推進する。
- 2 技術革新の推進
低炭素型モビリティの性能向上につながる革新的な次世代電池、車体の軽量化、ITS（高度道路交通システム）技術などの技術革新を進め、ものづくりをはじめとする関連産業のイノベーションを推進する。
- 3 スマート社会への積極的な活用
低炭素型モビリティとスマートハウスやスマートグリッドを効果的につなぐ仕組みを構築し、低炭素型モビリティの積極的な活用によるスマート社会の実現を目指す。
- 4 人と環境にやさしいまちづくり
環境に配慮したカーシェアリングや高齢化社会に対応した安全で安心なモビリティの普及など、低炭素型モビリティを活用した人と環境にやさしいまちづくりを目指す。
- 5 自治体、産業界の協力強化による地域経済の活性化
自治体と産業界は、業態や地域の垣根を越えた絆をより一層強化し、低炭素型モビリティの普及やスマート社会とモビリティとの調和を通じて、人々の生活の質的向上と地域経済の活性化を目指す。

平成24年11月9日